



AIN HOLDINGS

第48期 株主通信

2016年5月1日 ▶ 2017年4月30日

Financial Report

株式会社アインホールディングス

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、当社に温かいご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。さて、第48期（2016年5月1日から2017年4月30日まで）の決算が終了いたしましたので、ここに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

わが国の経済は、雇用情勢の改善を背景として、個人消費は総じて持ち直すとともに、生産、設備投資にも持ち直しの動きがみられ、企業収益は改善しております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局の新規出店及びM&Aによる事業拡大をはじめ、都市型ドラッグストア事業を推進し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

今後も一層の企業価値向上に取り組む所存でございますので、株主の皆さまにおかれましては、何卒ご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長
大谷 喜一



今期の業績はいかがでしたか。

M&Aを含む218店舗の出店により、売上高は前期比5.6%の増加となったものの、経常利益は薬価及び調剤報酬改定等の影響により前期比0.5%の減少となりました。

医薬事業におきましては、前期出店の寄与に加え、2016年12月に全国にグループ全体で調剤薬局115店舗を展開する株式会社葵調剤（宮城県仙台市）の子会社化を実施したことにより、売上高は前期比5.1%増となりました。また、薬局店舗数は全国47都道府県で1,000店舗を超える規模となりました。

物販事業におきましては、9店舗の新規出店の他、前期に出店した旗艦店の伸長により、売上高は前期比2.4%の増加となりました。

その結果、連結の売上高は2,481億1千万円（前期比5.6%増）となり、経常利益は150億8千万円（同0.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は79億4千9百万円（同0.4%増）となりました。

また、グループ店舗数は1,118店舗（同185店舗増）（※1）となりました。

（※1）2017年4月期末時点



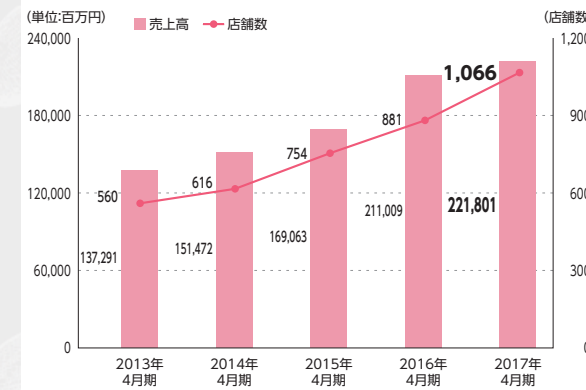
医薬事業の展開についてどのようにお考えですか。

「かかりつけ薬剤師・薬局」としての機能をさらに強化すべく努力を続けてまいります。

高齢化の進捗と医療費の増大等に伴い、2016年4月の調剤報酬改定では、いわゆる門前薬局の評価が見直される一方、患者さま本位の医薬分業の実現に向けて、かかりつけ薬剤師・薬局となることが強く求められる内容となりました。

当社グループでは、在宅対応を中心とした地域医療との連携、お薬手帳等を活用した薬剤に関する情報の一元的・継続的管理の強化、ジェネリック医薬品の使用促進に加え、「かかりつけ薬剤師・薬局」としての機能をさらに強化すべく取り組みを続けてまいります。また、患者さまの利便性を追求し、好立地への出店及び確実なM&Aによる事業拡大に努めてまいります。

医薬事業 売上高・店舗数の推移



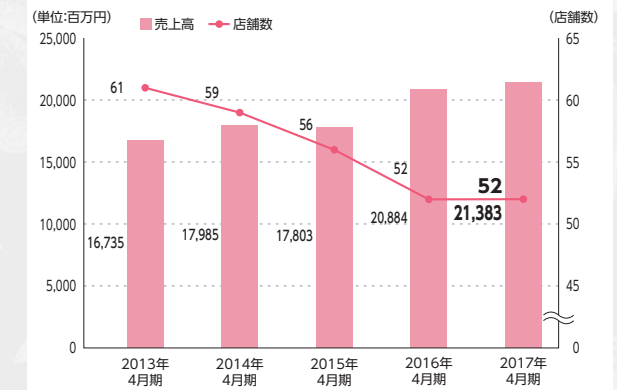
物販事業の展開についてどのようにお考えですか。

首都圏への積極の出店及びブランディング強化により、粗利率改善及び早期黒字化を目指してまいります。

同業間による同質化競争、業種間を超えた統合・再編による競争により厳しい市場環境が続くなか、「アインズ&トルペ」の首都圏への積極出店を継続的に実施するとともに、既存店の改装及び関連商品を中心とするMDの強化による集客力向上に努めております。

「リップス&ヒップス」及び「ココデシカ」をはじめとするオリジナルブランドを積極的に展開することにより、より一層の粗利率の向上に努める他、ブランディング強化により第2の柱となる事業として早期黒字化を目指してまいります。

物販事業 売上高・店舗数の推移





医薬事業
Pharmacy Business

2016年4月の調剤報酬改定では、いわゆる門前薬局の評価が見直される一方、患者さま本位の医薬分業の実現に向けて、「かかりつけ薬剤師・薬局」となることが強く求められる内容となっております。医療業界での薬剤師不足が深刻化するなか、当社グループでは新卒採用に積極的に取り組んでおり、2017年4月には307人の新卒薬剤師が入社し、かかりつけ薬剤師としての資質を向上させるべく教育研修を強化しております。今期はM&Aを含めた209店舗の出店と24店舗の閉店により、調剤薬局総数は1,066店舗となり、売上高は2,218億1百万円（前期比5.1%増）、セグメント利益は191億1千万円（同0.6%減）と増収減益となりました。

topics

「アイン薬局 ペリエ千葉エキナカ店」オープン

2017年6月、当社グループで初めての改札内薬局として、1日約10万人が利用するJR千葉駅改札内へ「アイン薬局 ペリエ千葉エキナカ店（千葉市中央区）」がオープンいたしました。エキュート立川（JR立川駅）、アトレ川崎（JR川崎駅）、NEWoMan新宿（JR新宿駅）、あべのハルカス（近畿日本鉄道阿部野橋駅）等、利便性の高い駅ビルへの積極出店で、より多くの方々の健康をサポートしてまいります。



ペリエ千葉

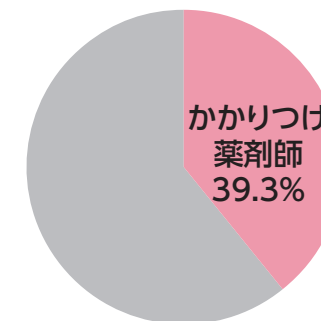


ペリエ千葉エキナカ店

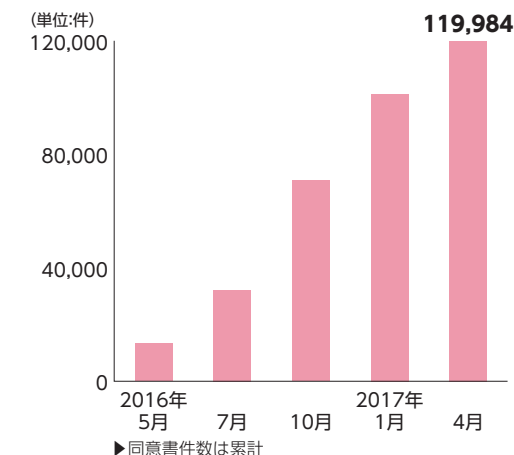
かかりつけ薬剤師の進捗ご報告

2016年4月に開始した「かかりつけ薬剤師制度」では、当社グループの薬剤師の約40%が「かかりつけ薬剤師」としてサービスを提供しております。また、2017年4月時点で、約12万人の患者さまに「かかりつけ薬剤師」として同意をいただいております。今後も全薬局で地域に根ざした薬局を目指してまいります。

■ **かかりつけ薬剤師割合**



■ **かかりつけ薬剤師同意書**



健康サポート薬局の取り組み

厚生労働省より2015年10月に発表された「患者のための薬局ビジョン」では、薬局はより地域の皆さまの健康サポートに貢献する場となるよう方針が示されました。当社グループでは健康サポート薬局として健康維持・増進を支援するためのお薬相談会や勉強会の開催等に取り組んでおります。また、薬局を身近に感じていただけるよう、子ども職業体験会開催等も行っております。



感染症予防や熱中症予防についての市民公開講座を開催



大型商業施設のイベントホールにて健康相談会を開催



「アインズ&トルペ」は、女性が毎日を大切に生きるための全てが揃うショップをコンセプトに、都市部・商業施設・駅構内等の集客力の高いエリアでの店舗展開を行っております。また、既存店の改装及び関連商品を中心とするMDの強化による集客力向上に努めております。

2017年4月期には、アインズ&トルペの新たな旗艦店舗としてマロニエゲート銀座店（東京都中央区）、京王百貨店新宿店（東京都新宿区）をはじめとする9店舗を新規出店し、郊外型を中心に9店舗を閉店したことで、ドラッグストア店舗総数は52店舗となりました。

その結果、売上高は、213億8千3百万円（前期比2.4%増）、セグメント損失は8億6千6百万円（前年同期は4億5千9百万円の損失）となりました。

topics

アインズ&トルペ 京王百貨店新宿店オープン

2017年3月、JR新宿駅を出てすぐの京王百貨店新宿店2Fにアインズ&トルペがオープンいたしました。百貨店本館には初の出店となり、より利便性の高い立地での展開を進めております。



京王百貨店 新宿店



アインズ&トルペ 京王百貨店新宿店

アインズ&トルペ コレットマーレ桜木町店オープン

2016年12月、横浜みなとみらいのショッピングタウン「コレットマーレ」1Fにアインズ&トルペがオープンいたしました。1フロア312坪の広大な売場で、若い女性からファミリー層まで楽しんでいただけるショップとなっております。



コレットマーレ



アインズ&トルペ コレットマーレ桜木町店

オリジナルブランド 「リップス&ヒップス」

「あなたが持っている女性らしさを最大限に引き出したい。」リップス&ヒップスは、そんな思いから生まれたブランドです。フェイスクケアからボディケア、ヘアケアまで、日本人の肌のことを考え、女性の気持ちを満足させるための香りやデザインを組み合わせせたコスメブランドとなっております。



LIPS and HIPPS

「リップス&ヒップス ROOM」のご紹介

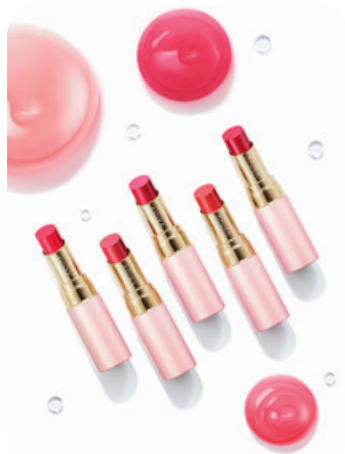
「リップス&ヒップス」より、新たにルームウェアの展開も開始いたしました。いつもより少し可愛らしく、お部屋の中でもおしゃれを自由に取りたい女性に向けた着心地の良いアイテムをお届けしてまいります。

LIPS and HIPPS
ROOM

アユラの新商品をご紹介します

「アユラ」ブランドは、肌・からだ・心の良循環こそ真の美しさが宿る源泉と考え、五感に響く化粧品、独自の美容をご提案するコスメブランドです。全身を美しく整えるためにホリスティック（全体的）なケアをご提案します。

2017年に発売されるアユラの新商品をご紹介します。



2017年7月21日（金）発売

～うるおい彩る、ふっくらびるん。～
彩りを溶かし込んだうるおいで唇をふっくらつややかに魅せる
モイストルージュ

アユラ フォンダンルージュ
<口紅>全5色 各3,000円（税抜）



2017年9月1日（金）発売

「なにをやってもダメ」
そんなダメージ肌モニター91%を
「満足」させた美容液、誕生。

アユラ リズムコンセントレート
<美容液>40mL 8,000円（税抜）

先行発売のお知らせ

アユラ リズムコンセントレート<美容液>は、下記一部店舗にて先行販売を開始いたします。

発売日:2017年8月5日（土）

店舗：さっぽろ東急百貨店、アインズ&トルペ北海道13店舗（ル・トロワ店、麻生店、アリオ札幌店、札幌パセオ店、月寒中央店、ススキノラフィラ店、琴似店、大通ビッセ店、ポールタウン店、新さっぽろデュオ店、宮の沢駅店）

アユラのお得な情報をホームページにてご紹介しております

- ・ 新商品、限定品等の情報をご紹介
- ・ アユラオリジナルグッズがもらえるキャンペーン情報も随時更新
- ・ 季節ごとのお悩みに合わせたお手入れ方法や美肌レシピ等をご紹介

アユラ 検索



「アユラ」で検索、もしくはQRコードでアクセス可能です

テレビ東京「メルクリウスの扉」が放送されました。

2016年9月25日に、当社グループを取り上げたドキュメント番組、テレビ東京「メルクリウスの扉」が放送されました。普段見ることのできない調剤薬局の姿を多くの方々に広く知っていただきたいという思いから、多岐にわたったさまざまな視点で薬剤師・調剤薬局をクローズアップしていただきました。



女性の活躍を推進してまいります

当社グループの産前産後休暇、育児休暇、育児短時間勤務制度を活用している社員数は延べ人数1,000人以上となっております。また当社グループは「女性の活躍推進に関する行動計画」を策定し、女性管理職比率を現在の31.7%から50%に引き上げることを目標としております。今後も女性の能力が発揮できる場を増やし、女性の積極登用にに向けて取り組んでまいります。

●アイングループ産休・育休・育短取得者数

産前産後休暇	195人
育児休暇	371人
育児短時間勤務	451人

▶2017年4月期末時点

●アイングループ管理職の女性比率

管理職（全体）	31.7%
取締役	16.7%
執行役員	33.3%
部長	17.9%

▶2017年4月期末時点

▶管理職（全体）：本部の係長職以上、及び薬局長・店長

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2016年4月30日現在)	当連結会計年度 (2017年4月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	56,593	65,420
現金及び預金	22,647	29,775
受取手形及び売掛金	12,385	9,990
商品	10,661	11,402
貯蔵品	323	266
繰延税金資産	1,149	1,166
未収入金	5,983	9,402
その他	3,445	3,462
貸倒引当金	△ 3	△ 44
固定資産	83,294	90,902
有形固定資産	28,153	28,464
建物及び構築物	14,694	15,365
土地	9,537	9,958
建設仮勘定	813	316
その他	3,108	2,823
無形固定資産	35,586	43,109
のれん	33,337	40,939
その他	2,248	2,170
投資その他の資産	19,555	19,329
投資有価証券	2,677	2,435
繰延税金資産	2,038	2,167
敷金及び保証金	10,013	10,443
その他	6,062	4,595
貸倒引当金	△ 1,237	△ 312
資産合計	139,888	156,323

科目	前連結会計年度 (2016年4月30日現在)	当連結会計年度 (2017年4月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	66,744	72,955
買掛金	39,987	39,325
短期借入金	5,690	7,596
未払法人税等	4,448	2,898
預り金	10,112	14,223
賞与引当金	1,633	1,903
役員賞与引当金	13	16
ポイント引当金	390	410
その他	4,468	6,580
固定負債	19,818	23,188
長期借入金	14,854	18,254
退職給付に係る負債	2,228	2,331
その他	2,735	2,602
負債合計	86,563	96,144
(純資産の部)		
株主資本	53,237	59,918
資本金	8,682	8,682
資本剰余金	6,367	6,367
利益剰余金	38,605	45,286
自己株式	△ 419	△ 419
その他の包括利益累計額	21	187
その他有価証券評価差額金	△ 63	86
退職給付に係る調整累計額	84	101
非支配株主持分	65	73
純資産合計	53,324	60,178
負債純資産合計	139,888	156,323

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2015年5月1日から 2016年4月30日まで)	当連結会計年度 (2016年5月1日から 2017年4月30日まで)
売上高	234,843	248,110
売上原価	196,308	206,017
売上総利益	38,535	42,092
販売費及び一般管理費	23,915	27,529
営業利益	14,619	14,563
営業外収益	1,153	931
営業外費用	614	414
経常利益	15,158	15,080
特別利益	190	455
特別損失	1,398	1,228
税金等調整前当期純利益	13,949	14,307
法人税、住民税及び事業税	6,698	6,040
法人税等調整額	△ 710	310
当期純利益	7,961	7,956
非支配株主に帰属する当期純利益	44	7
親会社株主に帰属する当期純利益	7,917	7,949

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

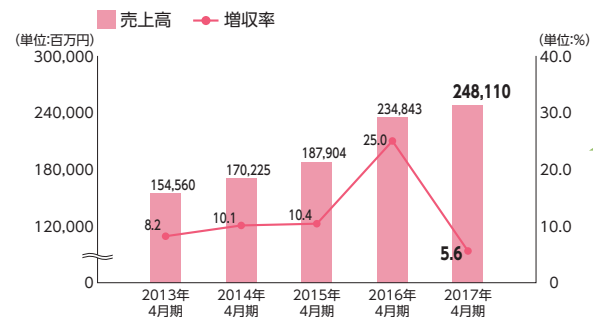
科目	前連結会計年度 (2015年5月1日から 2016年4月30日まで)	当連結会計年度 (2016年5月1日から 2017年4月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,352	18,409
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 20,877	△ 11,183
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,028	116
現金及び現金同等物の増減額	2,503	7,342
現金及び現金同等物の期首残高	19,389	21,892
現金及び現金同等物の期末残高	21,892	29,234

2018年4月期連結計画

売上高 2,675億円
経常利益 170億円
親会社株主に帰属する当期純利益 89億円
出店数 108店舗

2018年4月期連結計画は、医薬事業における利便性の高い好立地への出店と確実なM&Aの継続、物販事業における首都圏への積極出店とブランディング強化により、売上高7.8%増、経常利益12.7%増、親会社株主に帰属する当期純利益12.0%増を見込んでおります。

売上高 2,481億1千万円

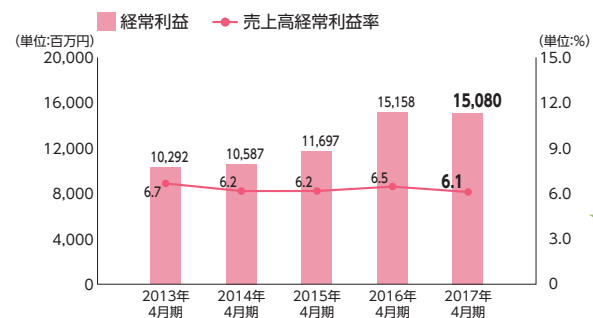


売上高
5.6%増

218店舗の出店により、売上高過去最高を更新

M&Aを含む連結218店舗の出店により、売上高は前期比5.6%の増収となりました。

経常利益 150億8千万円

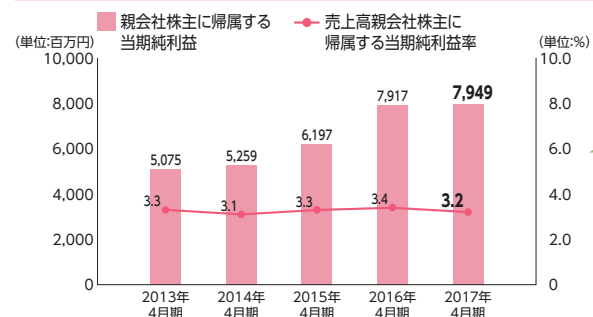


経常利益
0.5%減

薬価及び調剤報酬改定等の影響により経常利益0.5%減

医薬事業における薬価及び調剤報酬改定等の影響、また物販事業における販売促進費等の増加により、経常利益は前期比0.5%減となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益 79億4千9百万円

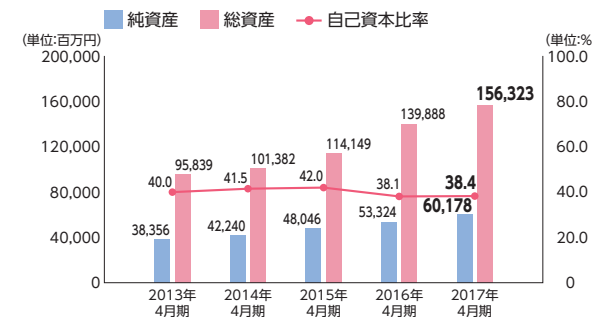


親会社株主に帰属する当期純利益
0.4%増

利益を確保し、成長の原動力に

親会社株主に帰属する当期純利益は前期比0.4%増と最高益を更新いたしました。今後もコストの見直しや業務の効率化を継続し、利益の確保を続けてまいります。

純資産 / 総資産 / 自己資本比率

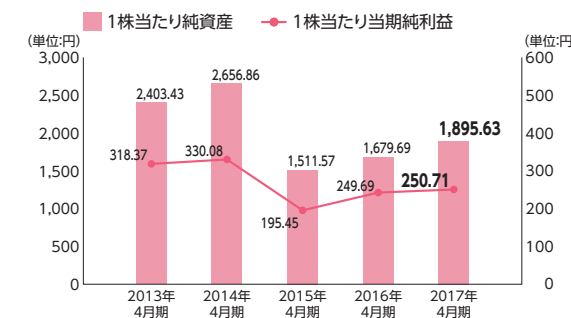


純資産
12.9%増

健全な財務体質を維持

純資産は前期比12.9%増、総資産は前期比11.7%増、自己資本比率は前期比0.3ポイント増となりました。これはM&A資金の調達及び実行による事業規模拡大によるものです。

1株当たり純資産 / 1株当たり当期純利益



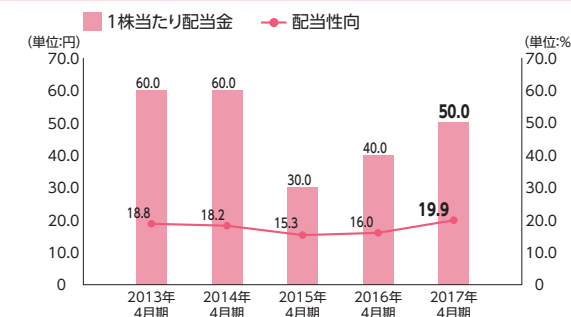
1株当たり純資産
12.9%増

継続的かつ確実に増加

1株当たり純資産は前期比12.9%増、1株当たり当期純利益は0.4%増と、継続的かつ確実に増加しております。

※2014年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
2015年4月期期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産及び当期純利益を比較しております。

1株当たり配当金 / 配当性向



1株当たり配当金
50円

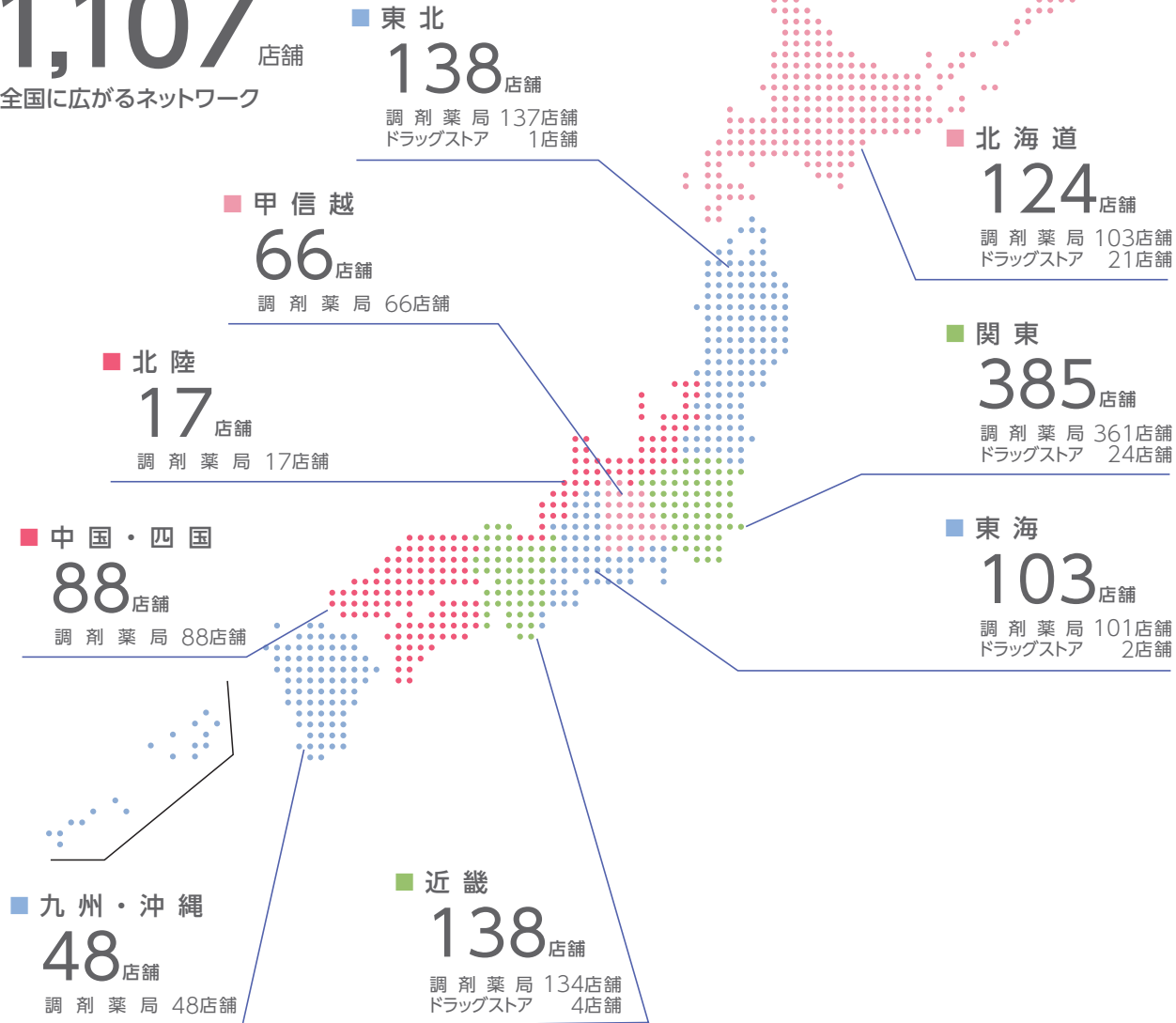
1株当たり配当金は50円へと増加

1株当たり配当金は前期より10円増の50円となり、配当性向は19.9%と3.9ポイントの増加となりました。これからは継続的な企業成長により、株主さまへの還元を行ってまいります。

※2014年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

アイングループ

1,107 店舗
全国に広がるネットワーク



商号 株式会社アインホールディングス
本社 札幌市白石区東札幌5条2丁目4番30号
 TEL (011) 814-1000 (代表)
設立 1969年8月
資本金 86億8,297万円
従業員 9,774名 (パート含む) (グループ連結)
事業内容 調剤薬局・ドラッグストアの経営、ジェネリック医薬品の卸売販売、化粧品の販売等、各事業を中心とした企業グループの企画・管理・運営

役員構成

代表取締役社長 大谷 喜一
 代表取締役専務 櫻井 正人
 代表取締役専務 首藤 正一
 代表取締役専務 水島 利英
 常務取締役 大石 美也

取締役 木明 理絵子

取締役(社外) 森 洸

取締役(社外) 濱田 康行

取締役(社外) 木村 成樹

常勤監査役 川村 幸一

監査役(社外) 居林 彬

監査役(社外) 村松 修

(2017年7月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 44,000,000株
 発行済株式の総数 31,888,212株
 株主数 3,450名
 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
大谷 喜一	3,238	10.21
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	2,480	7.82
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 丸紅口	1,594	5.03
株式会社北海道銀行	1,472	4.64
ジェー・イー・モルガン・チェース・オープンハイマー・ジャステック・レンディング・アカウント	1,163	3.67
株式会社北洋銀行	1,085	3.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,016	3.21
エムエルプロセグリゲーション・アカウント	945	2.98
MSIP CLIENT SECURITIES	846	2.67
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	842	2.66

(注) 1. 持株比率は自己株式(180,644株)を控除して計算しております。
 2. みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 丸紅口の所有株式は、丸紅株式会社が退職給付信託として拠出したものであります。

株 主 メ モ

事業年度	毎年5月1日から翌年4月30日まで
定時株主総会	毎年7月開催
基準日	毎年4月30日
配当金受領株主確定日	その他、必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。 毎年4月30日 なお、中間配当を実施する場合の中間配当金受領株主確定日は、10月31日です。
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配 当金受取り方法の 変更、単元未満株 式の買取・買増等)		みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
未払配当金のお支払		上記「特別口座の場合」のお取扱店に加え、みずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・株券電子化前に名義書換を失念し、お手元に他人名義の株券がある場合は、至急上記電話お問い合わせ先までご連絡ください。 ・特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 ・みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

公 告 方 法 電子公告により行い、公告掲載場所は当社のホームページ(<http://www.ainj.co.jp/>)といたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

